

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|-----------|--|-----------------------|
| 1 施設名 | せんだいメディアテーク | |
| 2 指定管理者 | 公益財団法人仙台市民文化事業団 | |
| 3 指定期間 | 令和4年4月1日～令和9年3月31日 | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 令和4年度 89,288人(前年度比 76.1%) 令和3年度 117,281人 令和2年度 74,451人 | |
| | 《事業》 メディアを活用した生涯学習活動及び文化活動にかかる情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発、視聴覚障害者に対する情報活動の支援を行う。また、美術・映像に係わる情報・資料の収集及び提供並びに展覧会、講習会その他の催しを行うほか、展示や上映のための施設の提供を行う。 | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ()は前年度決算額 | |
| | ・ 指定管理者に支払った費用 | 582,250千円 (592,330千円) |
| | ・ その他市が負担した費用 | 748,479千円 (22,131千円) |
| 6 利用者の声 | 《収入》 | |
| | ・ 使用料収入 | 32,777千円 (31,803千円) |
| | ・ その他収入 | 1,876千円 (1,848千円) |
| 6 利用者の声 | 《実施状況》 令和4年12月、施設利用者アンケートを実施した。 | |

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|--|-------|
| I 総則 | 職員が施設の設置目的を理解していることで、施設運営や事業実施に活かされており、市民活動や外部機関と積極的に連携した事業を実施している。定禅寺通エリア活性化を目的とした各種取り組みに、積極的に参加協力している。令和4年度は新たに、持続的な地域活性化の取り組みとして、「公開空地」の利活用の可能性とその手法について、検討から試行的なイベント開催までを関係団体と連携し実施した点が高く評価できる。 | 30/27 |
| II 施設の運営管理体制 | 災害発生時の誘導体制や、施設内で事故が発生した場合の連絡体制が明確になっており職員間での共有が徹底されている。個人情報保護・情報セキュリティ研修など、年間を通じ各種研修の実施や、随時情報共有を行う体制を構築している。視聴覚障害者等の避難誘導の職員向け研修を自主的に実施している。 | 30/30 |
| III 施設・設備の維持管理 | 施設の保守点検や清掃などが適切に行われており、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。警備員の巡回も適切に行われており、利用者へ安全で安心感のある環境を提供している。また、施設長寿命化を目的とした照明設備等改修工事に伴い、8月9日～10月31日の全館休館・臨時窓口の開設や、その後のフロアごとの改修・利用休止を行ったが、利用者への周知や安全対策が適切に行われたことで、大きな混乱もなく運営することができた。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | 施設利用者が使いやすいように、窓口やHPでの情報提供方法に工夫をしている。利用者からの意見やアンケート結果は、職員が情報を共有し改善に努めている。施設特性上、見学者の多い施設であるため、多言語に対応できるよう職員を配置するほか、幅広い層に向けたパンフレットを作成している。窓口対応等でお客様と接する職員全員がマニュアルを所有しており、内容を把握できている。また、適宜接遇に係る日常の事例集をまとめ、職員間で共有を図っている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 施設貸出や使用料徴収などの管理業務は適切に行われている。各種講座、市民等との協働事業を実施し、市民への生涯学習活動への支援が適切に行われている。事業実施にあたっては、市民が参加しやすい工夫がなされているほか、関係団体と良好な関係を築きながら行っている。自主事業において、地域の課題やニーズを的確にとらえ、それを反映した企画を展開しており、東北圏における美術・映像・デザインの拠点としての、先進的な事業を行っている。令和4年度の展覧会においては、障害者の生涯学習の視点を取り入れるとともに、特に子どもにとって関心、好奇心が掻き立てられる企画であったことから、アートを通し、誰もが地域の一員として参加・体験することができるユニークな企画であった点が高く評価できる。 | 27/26 |

三 評価総括

| 《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》 |
|---|
| <p>施設の管理業務にあたっては、条例や協定書等に基づき適切に行い、費用の抑制にも努めた。また、個人情報保護及び情報セキュリティについて、全職員対象の研修等により対策を講じた。</p> <p>8月から全館休館して行われた照明等の改修工事に際しては、市民サービスの提供が滞ることのないよう、施設受付業務や市民図書館を含む資料貸出などの臨時窓口を設置した。職員が勤務する中での工事のため、随時関係各所と細かな調整を行い、工程を工夫するなどスムーズな進行に務めた。また、避難訓練では現実に近い想定で工事業者も交えて実施し、工事中での非常時に備えた。新型コロナウイルス感染症対策では、市のガイドラインに沿って施設運用について検討を重ね、来場者が安心して利用できるよう努めた。</p> <p>映像音響ライブラリーでは、常設の展示として障害者向けサービスなどをわかりやすく伝える環境を整えた。同じく2階に「わすれん！資料室」を常設とし、市が力を入れる旅先体験の震災プログラムのひとつとして、観光面で貢献できるコンテンツを整備した。また、外国人来館者への対応として、英語版のリーフレットを作成した。</p> <p>市が活性化に力を入れている定禅寺通の活動では、プロジェクトの一員として、イベントに合わせた公開空地の利活用に積極的に取り組んだ。工事における閉館期間があったものの、少しずつながら多様な自主事業へと戻る足がかりを得ることができた。1階オープンスクエアでは「定禅寺パターゴルフ???倶楽部!!」と題した体験型の展覧会を開催。共生社会における「インクルーシヴデザイン」の観点を織り交ぜた斬新な事業となった。著名なゲストを迎えた館長トークを3年ぶりに開催したほか、沿岸部の復興、ごみの減量、共生社会、市街地活性化など、社会課題にアートの視点を活かした様々な取り組みを行うなど、メディアテークの特性を活かした高い公共性を有す事業を展開することができた。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>せんだいメディアテークは、市民図書館との複合施設ということもあり、多くの方々に利用される施設である。令和4年度は、施設長寿命化を目的とした照明設備等改修工事に伴い、8月9日～10月31日を全館休館とし、その間施設利用の相談、施設予約や使用料の支払いを受け付ける臨時窓口を開設し、その後フロアごとの改修・利用休止を行った。利用者への周知が適切に行われたこと、安全確保のため、工事業者や関係者間との綿密な調整により、大きな混乱もなく運営することができた。また、本改修工事箇所以外にも、施設の老朽化が進み、設備の故障等緊急に対応を要する場合も増えているが、予防保全として保守点検を計画的に実施するとともに、故障等の発生時には都度迅速に対応し、利用者への影響を最小限に抑えることができています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応については、適宜市の方針に沿って、関係者との協議を重ねながら適切に実施している。</p> <p>活動支援においては、他施設にはない専門性を活かして、本市他部局や大学、NPOなどの団体と連携・協力しており、本市における生涯学習・文化芸術支援の拠点として大きな役割を担っている。地域の課題やニーズを的確にとらえ、事業に反映させた各種企画を展開しており、東北圏における美術・映像・デザインの拠点としての、先進的な事業を行っている。震災関連の映像等を含む、様々な協働による地域の芸術文化活動の記録や制作物を、公開・提供することで、市民や市民団体等への支援を行っている。令和4年度の展覧会においては、障害者の生涯学習の視点を取り入れるとともに、特に子どもにとって関心、好奇心が掻き立てられるものであったことから、アートを通じ、誰もが地域の一員として参加・体験することができるユニークな企画であり、市民へ多様な学びの機会を提供できた点が評価できる。</p> <p>また、定禅寺通りに関する各種事業等への連携についても、良好な協力体制が整えられているとともに、持続的なエリア活性化取り組みの検討と試行に対し、積極的に協力している点が評価できる。</p> <p>以上、せんだいメディアテークの管理運営を伴う当該財団による事業運営は、これまでの運営実績により蓄積された高度な専門性と、利用者や市民団体など様々な主体との良好な関係に基づき、多様な市民の生涯学習活動における要望に適切に対応し積極的にサービス向上に取り組むなど、施設設置目的に沿った管理運営を実施しているものと評価できる。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|------|
| |

© 評価担当課(施設所管課):教育局生涯学習部生涯学習課